

## 山の根古墳(比企郡吉見町)

山の根古墳があるという吉見町久米田付近には沼が多い/これは大沼







## 丘陵地における溜池(大沼)

この地域の水田開発は、江戸時代中期より始まったといわれ、この大沼も、かんがい用水源地として築造された溜池の一つである。

比企丘陵は、水の便に比較的恵まれていないが枝状によく谷が発達している地形を利用して農業用水を確保するため、谷頭に数多くのかんがい用溜池が造られている。これらの溜池は、水田耕作にとって、重要な役割を果たしてきた。

とくに、雨の少ない年は、溜池の放水にたよって稲作を行うことになるため、その調節いかんによって収穫に多くの影響がでるので、水番をおいて、放水量の調節を行った。

このような場合、水を効率的に利用するため上流より逐次順番を定めて、作付することになり、これは地区の取りきめに従っておこなわれた。

旱天時の水は農業にとっては貴重なものとしてあつかわれ「精根水」といわれる様に大切にされたものである。

この大沼の規模は、面積五、七ヘクタール、貯水量一三八、〇〇〇立方メートルあり、かんがいされる耕作面積は九〇ヘクタールである。

平成十年三月

吉見町・埼玉県





天神沼近くにあった馬頭観音





# 亀の甲の馬頭観音

見立  
吉と歩  
る  
敷  
小  
設  
置  
理  
吉見町

馬が農耕や運搬に欠くことのできない時代には、各地に馬頭観音講中があり、馬の無病息災を祈ったり、死馬の供養を行ったりしていた。

この馬頭観世音は、付近の各地区の講中の総意によって、慶応元年（一八六五年）に造立された文字塔である。

台石正面には「下吉見講中」とあり、他の三方には地元世話人と、各村々の世話人、更には、流川村中、久米田村中、柚沢村中、根古屋村中、土丸村中という講中名が刻まれ、続いて三十ヶ村の村名と助力者の氏名が、下段基礎部に刻まれている。

塔身裏面には「北かうのすへ二り」右側面には「東おけ川へ三り」左側面には「西まつ山へ一り」とあり、道しるべにもなっている。

平成十年三月

吉見町・埼玉県



天神沼



こちらは和名沼近くの「風の杜」という自然環境保繕地区









# 風の杜

吉見町  
ふもと自然保護区  
埼玉県自然保護課  
制作年度 平成30年度  
管理番号 77

比企丘陵の東北端に位置する「風の杜」は、かつてどこにも見られたような雑木林です。ところが昭和三十年代から生活様式の変化や宅地開発等によって雑木林は大きく姿を変え、現在では数少なくなっていました。

こうした中で、面積約八ヘクタールの「風の杜」周辺は、かつての姿を今にとどめています。しかし、荒れていく様子に心痛める人達の声が高まりました。そこで町では、地権者のみなさんの同意を頂き、平成四年十月九日に埼玉県から「ふるさと緑の景観地」に指定されました。

「風の杜」は、ふるさとの自然を楽しもうと平成二年に発足した「よしみ町の自然を楽しむ会」がホタルや野鳥の観察を通じて活動する中で、名付けられました。吉見町の風土を象徴する「風の杜」は、貴重な財産です。みなさんの手で、この自然を育みたいものです。

平成十年三月

吉見町・埼玉県



ジョウビタキ



アオゲラ



ベニシジミ



和名沼



赤いポイントの場所が山の根古墳



さて、ここは地図の赤いポイントの近くの車道で見つけた一寸した踏み跡

 [video](#)



そこを上がって東方向へ進む

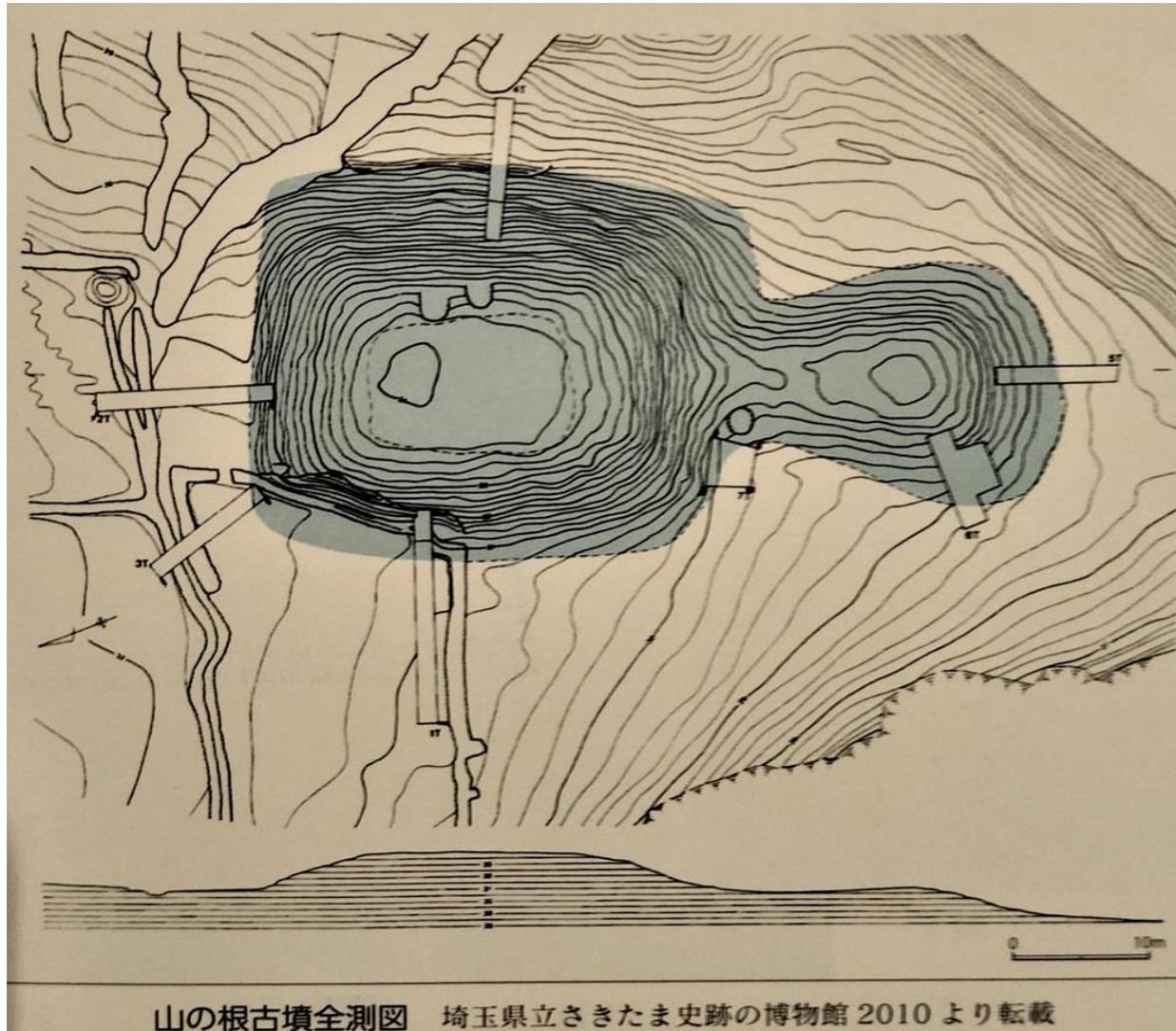


すると、前方にマウンドが見える/これが山の根古墳の前方部

 [video](#)



山の根古墳の墳丘図/4世紀前半築造の前方後方墳とされる/前方部先端から墳丘に登り、後方部先端まで進んでみよう



朝霞市博物館の第34回企画展の図録から引用

前方部の墳頂に登り、後方部方向を見たところ

 video



括れ部辺りで、後方部方向を見たところ

 video



後方部の墳頂で、更にその先を見たところ

 video



後方部先端を見たところ



そこで、左手を見たところ/墳丘下に赤白の測量用ポールが立っているのが見える



同じく、右手を見たところ

 video



墳丘を下りて、後方部を見たところ/右端に測量用のポールが立っている/墳丘裾の位置であろうか？

 [video](#)



墳丘全体を左手(後方部)～右手(前方部)と見たところ

 [video](#)



南側から山の根古墳が所在する丘陵(正面中央辺りか?)を見たところ

 video



さて、山の根古墳の少し北東側に山の根2号墳(方墳)があるらしい/ここに入りてみよう



少し進んで右手に折れると、あちこちに測量用のポールが立っていた

 video



これが2号墳のようだ/手前は墓地となっている

 video



これは右手の古墳端部

 video



そこから墳丘を見たところ

 video



## 参考ホームページ

<https://kofunmeguri.hatenablog.com/entry/2020/01/15/000000>

<https://massneko.hatenablog.com/entry/2021/01/04/000000>

[file:///C:/Users/u7231/Downloads/03\\_%E5%90%89%E8%A6%8B%E7%94%BA%E5%B1%B1%E3%81%AF%E6%A0%B9%E5%8F%A4%E5%A2%B3%E3%81%AE%E5%B9%B4%F4%BB%A3%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6.pdf](file:///C:/Users/u7231/Downloads/03_%E5%90%89%E8%A6%8B%E7%94%BA%E5%B1%B1%E3%81%AF%E6%A0%B9%E5%8F%A4%E5%A2%B3%E3%81%AE%E5%B9%B4%F4%BB%A3%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6.pdf)

<https://saitama-te.gicz.tokyo/shopdetail/13253>

<https://kofunoheya.blog.fc2.com/blog-entry-951.html>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B1%B1%E3%81%AE%E6%A0%B9%E5%8F%A4%E5%A2%B3>

